

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

浜松市地域セミナー 報告書

2019（令和元）年7月8日（月）に、「スポーツ庁 オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」浜松市地域セミナーが開催されました。当日は、今年度の推進校の先生方16名に参加いただき、下記の要領で行われました。

【開催概要】

日時：2019（令和元）年7月8日（月）14時00分～16時30分

会場：浜松学院大学布橋キャンパス

主催：オリパラ教育浜松市内連携協議会、早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター

参加者：16名

プログラム：

- | | | |
|-------------|-----------------|---|
| 14:00～14:10 | 開会挨拶 | 浜松市教育委員会 学校教育部 指導課
課長 野秋 愛美 氏
オリ・パラ教育浜松市内大学連携協議会
副会長 大野木 龍太郎 氏 |
| 14:10～14:20 | 本事業の概要説明 | 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター
副センター長 深見 英一郎 氏 |
| 14:20～14:50 | 実践事例・指導方法の紹介 | 早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター
研究員 岡田 悠佑 氏 |
| 14:50～15:15 | 浜松市における本事業の概要説明 | オリパラ教育浜松市内大学連携協議会
事務局 松岡 孝江 氏
浜松市スポーツ振興課
主任 村田 弘貴 氏 |
| 15:15～15:25 | 休憩 | |
| 15:25～16:20 | 教育実践計画の作成 | |
| 16:20～16:30 | 閉会挨拶 | オリパラ教育浜松市内大学連携協議会
会長 小柳 好生 氏 |

開会行事では、浜松市教育委員会の野秋氏より挨拶がありました。野秋氏からは、本事業に取り組む経緯や実施体制をご説明いただいたうえで、このセミナーを浜松市におけるオリンピック・パラリンピック教育のスタートとして、少しでも浜松市の子ども達のオリンピック・パラリンピック、さらにはスポーツの価値について

ての理解を深めていきたいと抱負を述べられました。さらに、浜松市において本事業を中心となって推進していくオリパラ教育浜松市内大学連携協議会の大野木副会長より挨拶がありました。NHK で放送されている大河ドラマ「いだてん」に登場する田畑政治が浜松市出身ということに触れながら、オリンピック・パラリンピック教育を浜松市で積極的に推進していきたいと述べられました。



野秋氏の挨拶

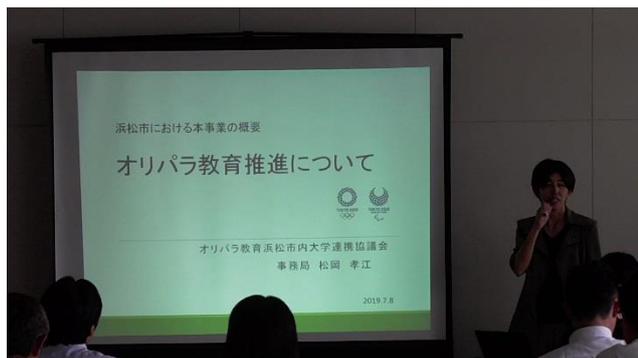


大野木氏の挨拶

次に、本センターの深見副センター長より、本事業の背景や支援体制等について説明がありました。さらに、本センターの岡田研究員より、これまでの実践事例を踏まえた指導方法についての紹介がありました。まず、冒頭で本事業がオリンピック・パラリンピック競技大会後にレガシーを残すことを目標としていることから、無理のない範囲で計画性・継続性をもった取り組みを実施していくことの重要性について説明がありました。そして、これまでの実践事例の中から教科と関連づけた実践、特別活動と関連づけた実践等の紹介がありました。さらに、オリンピック・パラリンピック教育用の教材として、「オリンピック・パラリンピック教育指導参考資料」（スポーツ庁）、「I'mPOSSIBLE」（JPC、パラリンピックサポートセンター）、パラリンピック教育用デジタル教材「夢に向かって 車いすアスリートの挑戦」（早稲田大学オリンピック・パラリンピック教育研究センター）等の紹介がありました。

さらに、オリパラ教育浜松市内大学連携協議会の事務局の松岡氏から、浜松市における本事業の推進方法や事務的な手続きの資料に関する説明がありました。浜松市では、ラグビーのヤマハ発動機ジュビロや浜松ボッチャ倶楽部 COOL 等の地元のスポーツ関連団体の協力を得ながら本事業を推進していくということでした。また、浜松市スポーツ振興課の村田氏より「ホストタウン」における交流活動の取り組みの紹介がありました。浜松市はブラジルのホストタウンになっていることから、今後ブラジルの選手団が事前キャンプ等で浜松市に来る際には、様々な交流プログラムを計画しているので、本事業でも活用していただきたい、とのことでした。

最後に、3つのグループに分かれてグループワークを行いました。推進校の現状から、今後の計画等について意見交換が行われました。



松岡氏の説明



グループワークの様子